

米山東・米山西幼稚園で幼年消防クラブ任命式 みんなで誓おう！火の用心

園児たちに防火の大切さを学んでもらおうと、米山東幼稚園で5月19日、米山西幼稚園では5月25日に「幼年消防クラブ員」の任命式が行われました。式では米山東幼稚園新入園児19人、西幼稚園新入園児42人に園長先生から任命証がそれぞれ手渡され、「火事を出さないようにしましょう」と呼び掛けました。その後、年長児を含め全員がそろいの法被姿で「マッチやライターで火遊びはしない」「あいさつができる良い子になる」「みんなで火の用心に努める」と三つの誓いの言葉を述べました。



▲そろいの法被を着た幼年消防クラブ員が「火の用心」をお約束！

とよま地区市民運動会 快晴の下スポーツを楽しむ

第66回登米市とよま地区市民体育大会が6月18日、市立登米小学校を会場に行われました。大会は地区内にある2つから3つの隣接した町内会で作った「スポーツ行政区」13チームに加え、今年は登米町内に避難している南三陸町戸倉チームも参加して行われました。競技は、玉入れや障害物リレー、百足競争など、子どもからお年寄りまで一緒に楽しめる工夫を凝らした種目が行われました。白熱した競技が繰り広げられた結果、日根牛中央を1点差で交わし、南三陸町戸倉チームが優勝の栄冠に輝きました。



▲スタートの合図とともに、各組とも協力して高得点を狙いました

石越で「神楽共演石越大会」開催 がんばれ宮城！神楽で支援

神楽を通じて、東日本大震災で被害を受けた皆さんに元気を伝えようと6月5日、チャチャワールドいしこしを会場に復興チャリティ神楽（神楽共演石越大会実行委員会主催）が開催されました。大会では、宮城県北岩手県南の11団体が参加し勇壮な舞が披露され、市内外から訪れた約300人の神楽ファンが大きな拍手を送っていました。当日は、復興支援のため入場料が無料となったほか、会場入口に募金箱が設置されました。集まった義援金は登米市社会福祉協議会を通じて南三陸町へ送られます。



▲地元長下田神楽保存会による、矢島合戦～忠信兄継信尋ねの場



▲今後の活動についてのそれぞれに思いを述べる、新役員の皆さん

南方地区交通安全母の会総会 家庭から築く交通安全

南方農村環境改善センターにおいて6月10日、南方地区交通安全母の会の総会が開催されました。総会では、前年度の活動報告や、今年度の活動予定、役員の改選などが行われました。祝辞では、高石駐在所の高橋所長から管内の交通事故の状況について、ドライバーの運転マナーの悪化が多く事故に繋がっていることなどが話されました。参加した皆さんは、説明に熱心に耳を傾け、各家庭で家族の心を一つにし、事故のない明るく楽しい地域を目指して活動を行うことを誓いました。

東和町旧鱒淵小学校に吉川団十郎さんが慰問 望郷の歌と語りで復興を支援

宮城県出身のシンガーソングライター 吉川団十郎さんが6月12日、南三陸町から多くの住民が避難している東和町旧鱒淵小学校を訪れ、「団十郎コンサート」が開催されました。コンサートでは、吉川さんが還暦記念に日本縦断しながら作った曲の数々を映像とともに披露。また、旅のエピソードなどを交えてのユニークな語り会場からは笑みがこぼれました。最後に「ああ宮城県 第二章」を熱唱すると、懐かしい歌に会場は和やかな雰囲気になりました。



▲映像を交え、日本各地のふるさとをよさをつづった歌を披露

迫で「ひまわりプロジェクト」 復興への願いを込めて

東日本大震災による津波で被害を受けた、南三陸町の住民が避難している迫ふさと交流館で6月2日、「ひまわりプロジェクト」（NPO法人め組ジャパン主催）が開催され、市内の避難住民などが参加してひまわりの種をまきました。この事業は、ひまわりを災害復興のシンボルとして、復興への願いを込めみんなで一丸となって頑張ろうという取り組みです。参加した皆さんは、スコップで地面を掘り起こし、太陽に向かって咲くひまわりに、復興への思いを込めながら種をまきました。



▲元気に咲くひまわりに思いを込め、施設の周辺に種をまく参加者